



当研究所では所員の研究発表や意見交換のための所員研究会を開催しております。
研究者向けの研究会ですが、一般の参加もできますので、興味のある方は是非お越しください。

シリコンバレーにおけるベンチャー・エコシステムの発展： 「システム」としての包括的理解を目指して

【日時】2018年7月10日 (火) 14:00~15:30

【場所】公益財団法人アジア成長研究所 6階 会議室

(北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル「ムーブ」6階)

【参加料】無料

【使用言語】発表・資料ともに日本語

【概要】本研究は、米国シリコンバレーのベンチャー企業やビジネスモデルおよびそれを支える各種アクターを、相互に関連し支え合う「エコシステム」として理解し、その体系的解説の提示を課題とする。そこで、ベンチャーエコシステムを「起業家とベンチャー企業」と「支援アクター」という大きく二つのセグメントの間の循環で構成されるものと想定する。「支援アクター」は、「大学と研究機関」「経営支援専門家（法律家、会計士、アクセラレータ等）」、「資金提供者（ベンチャーキャピタル等）」、「大企業」で構成されると考える。彼らは「起業家とベンチャー企業」に対し、各々の立場から各種支援やリソースの提供を行う。逆に、ベンチャー企業が成功した際は、それを支えてきたアクターに、色々な形での見返りを与える（キャピタルゲインの獲得、事業・技術の補完、人材獲得等）。この循環が回り続けることでエコシステム全体が存続していくのである。

本研究では、両セグメント、およびその中の各アクターの動向を、従来の状況に加え、近年（概ね2000年代以降）の新たな展開について可能な限り解説した。その内容を簡単に紹介すると以下ようになる。まず、「起業家とベンチャー企業」セグメントについては、活発な起業文化と濃密な技術コミュニティの存在が、起業家の輩出、および起業家・経験者の蓄積を支えてきた。加えて、近年では、起業サポートインフラの整備が進み、かつシリコンバレー流のビジネス手法が確立した結果、起業が一層容易となり、特に若者の間で起業の「ポップカルチャー」化が進んだ。合わせて、ユニコーン企業が輩出している。

「支援アクター」の「大学と研究機関」では、スタンフォード大学等からの豊富な人材と技術シーズの供給、産業界との連携に加え、近年は、起業家育成プログラムの充実がみられ、学生や教授らによる起業が強く奨励されている。

「経営支援専門家」については、従来からある、ベンチャー経営に精通した経営実務専門家（法律家、会計士等）からのサービスに加え、近年は、コワーキングスペースやアクセラレータのような起業家支援施設・育成プログラムが登場し、事業成長の加速と起業家コミュニティ形成の促進がなされている。

「資金提供者」の分野では、従来、地域の半導体・エレクトロニクス産業の技術的・起業家的発展とシンクロする形でベンチャーキャピタル（VC）業界が発展してきた。近年は、新世代Web起業家登場に合わせるように、VC業界の再編（従来型VCの停滞と「スーパー・エンジェル」の発展）がみられた。同時にクラウドファンディングが生み出され、資金調達ルートが一層多様化した。

「大企業」の存在もエコシステムにとって不可欠である。かつては、スピンオフ等を通じた起業家・経営人材の供給が主な役割であったが、近年は逆にM&Aによりベンチャー企業を活発に取り込んでいる（出口戦略としてのM&Aの重要性上昇）。また、コーポレート・ベンチャーキャピタルもブームとなり、M&Aやオープンイノベーションを支えている。

以上のように、エコシステムの各分野で新陳代謝や新たな仕組みが生み出され、層が厚くなり、全体として支援/リソース/見返りの流れが血液のごとく循環して、システムの生命を維持しているのである。



【発表者】岸本 千佳司
AGI准教授

お申込方法 HP・FAX・お電話のいずれかにてお申込みください。

■HP <http://www.agi.or.jp>からお申込みください。

■お電話 TEL：093-583-6202 までご連絡ください。

【受付時間：9:00~17:00】

■FAX 下記内容をご記入の上、本紙を送信してください。

【お問合せ先】

公益財団法人 アジア成長研究所 (AGI)

担当：谷村 Tel. 093-583-6202

E-mail: asia@agi.or.jp

FAX：093-583-6576



ご芳名(ふりがな)	ご所属・役職/学校名・学年	ご連絡先電話番号	賛助会員番号 (会員の場合)

※ご記入いただいた個人情報は、当研究所業務に関する情報提供・運営管理に活用させていただき、第三者に提供することはありません。